



末梢動脈疾患の診断と治療

手術日は何日後ですか？

睡眠時無呼吸症候群の検査のご紹介



撮影:予防接種センター顧問 宮津光伸

新緑の季節を迎えました。いかがお過ごしでしょうか。

当院では、この4月に新任の医師や研修医、また新しい看護部長をはじめ計60名の職員を迎えることができました。春の到来と共に、職場の雰囲気も、春らしい新鮮さを感じております。

研修医については、今年は定員7名全ての研修医が入り、昨年より2名の増員になりましたので、救急外来も含め、病院が益々元気になる事を期待しています。

皆が早く当院に慣れ、戦力として大活躍できるように環境を整えていきたいと考えております。今後とも皆様の暖かいご指導をよろしくお願い申し上げます。



名鉄病院
病院長

細井延行



4月1日付けで当院に着任し、副院長・看護部長を拝命いたしました。名古屋大学医学部附属病院や津島市民病院での看護管理の経験を元に研鑽し、看護職のキャリア開発や看護サービスの向上に努めて参りたいと思います。そして、患者さん中心に根拠に基づく安心安全で心温まる看護を提供し、地域の皆様から信頼して頂けるようになりたいと思います。

どうか、よろしくお願いいたします。



名鉄病院
副院長兼看護部長

太田真美



末梢動脈疾患の診断と治療



末梢動脈疾患は下肢動脈が動脈硬化で細くなる病気です。足の病気ですが予後は不良で大腸癌等の悪性腫瘍と同等と報告されています。その理由は、末梢動脈疾患は全身の動脈硬化がかなり進行してから発症するためです。末梢動脈疾患の死因の66%は心血管の異常とされています。

最も一般的な症状は間欠性跛行(かんけつせいはこう)です。間欠性跛行は歩行中に主にふくらはぎが痛くなり、休息すれば軽減します。間欠性跛行をおこす他の疾患に脊柱管狭窄症があります。脊柱管狭窄症の場合、前屈みになると楽になることが多いです。末梢動脈閉塞疾患との鑑別はABI(足関節上腕血圧比)測定により、比較的容易に行えます。ABIが0.9以下で末梢動脈閉塞疾患と診断されます。ABIが低値の場合、超音波検査等で非侵襲的に動脈のどこがどれだけ細いか診断します。

治療としては、生命予後改善が第一と思われます。糖尿病や喫煙等のリスクファクターのコントロールと抗血小板薬の投与が重要です。散歩等の運動もとても重要です。これらの治療で改善が見られない場合、当院では主に血管内治療(カテーテル治療)を施行しています。

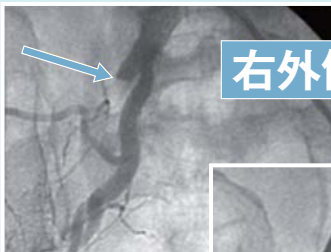
足に潰瘍(かいよう)ができる原因は、重症虚血肢か糖尿病性末梢神経障害のことが多いです。いずれにしてもすぐ病院を受診して下さい。感染を合併すると数日で進行し足切断となる場合があります。ヨーロッパESCのガイドラインでは、重症虚血肢(潰瘍、壊死)を診た場合、常に血行再建を考慮(Class IA)し、血管内治療を第一選択と考えて良い(Class II B)とされています。当院では重症虚血肢に対し、フットケアに精通している看護師をはじめリハビリテーションに至るまで、各診療科多職種連携して集学的にフットケアを実施します。

先生方におかれましては、ABIが低下した患者さん、足に潰瘍ができた患者さんがみえましたら、地域医療連携室を通じ御予約をいただければ幸いに存じます。



循環器内科部長
赤星 誠

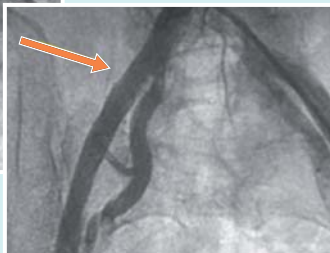
右外腸骨動脈閉塞に対して血管形成術施行した症例



右外傷骨動脈閉塞



血管形成術施行



血管形成術施行後、潰瘍が改善した症例



フットケア外来の紹介

糖尿病の合併症の一つに足壊疽(えそ)があるのはご存じですか?
糖尿病のコントロールが悪いと、血液の流れが悪くなります。さらに、免疫力が低下するので、感染しやすくなります。わずかな傷から感染し、壊疽になってしまいます。

フットケア外来では、

- ①足浴 ②血液の流れの確認
- ③爪肥厚の処置 ④胼胝の処置
- ⑤保湿ケア ⑥靴の提案

などを行い、足病変の予防をしていきます。普段なかなかお手入れが出来ない部分のケアの方法を一緒に考えます。

いつまでも、ご自分の足で歩けるようにサポートいたします。

是非、地域医療連携室にご相談ください。



爪のケア

動脈の流れを確認している様子



<専門資格>・皮膚・排泄ケア認定看護師
・日本糖尿病療養指導士

手術日は何日後ですか？

外科部長 清水 稔

名鉄病院外科では最大限早期の手術日を提案させていただいています。今回、手術決定から手術日まで、どのくらいお待ちいただいているか検討してみました。悪性疾患で最も手術症例の多い大腸癌に絞って調べました。なお待機手術は術前2日前の入院としています。

平成28年度(28.4.1~29.3.31)の外科全身麻酔手術532例中、大腸癌(直腸癌+結腸癌)は105例でした。大腸穿孔等の緊急手術(受診後2日までの手術)と、術前化学療法等の外科follow中の症例を除くと90例で、うち51例は腹腔鏡手術です。90例の外科初診(または消化器内科からの手術依頼)から手術までの日数は平均13.8日(3日~35日)でした。手術まで30日以上(3例)を患者さんの要因として除いた87例では平均12.8日(3日~28日)となりました。手術決定後、半数以上の患者さんが14日以内に手術していることとなります。21日以内とすると、実に86.7%の患者さんが実際に手術を受けています。

残念ながら他院と比較できるデータは見つけれませんでした。が、非常に早いのではないのでしょうか。もちろん、これは外科のみの功ではなく、手術室スタッフや麻酔科医の協力なくしては実現しません。手前みそですが、各部署の風通しが非常に良いことにより、お待たせする期間が短くなっていると考えています。



■平成28年度 手術症例数

全身麻酔手術(外科のみ)	532症例
大腸癌手術(直腸+結腸癌・切除したもの)	105症例
大腸癌待機手術(緊急等を除く)	90症例
大腸癌待機手術 腹腔鏡手術	51症例

■手術待機日数別症例数と割合(全90症例)

3~7日	24症例	26.7%
8~14日	28症例	31.1%
15~21日	26症例	28.9%
22日以上	12症例	13.3%

■外科初診から手術までの平均日数

緊急手術等を除いたもの	90症例	平均 13.8日(3~35日)
30日以上の3例を除いたもの	87症例	平均 12.8日(3~28日)



睡眠時無呼吸症候群の検査のご紹介

耳鼻科では睡眠時無呼吸症候群の診断・治療に力を入れており、睡眠時無呼吸症候群などに対する入院での検査を行っております。検査は夕方に入院し、翌朝に退院となりますので、日常生活にあまり支障をきたすことなく受けられます。

結果は後日外来で説明させていただきますが、睡眠時無呼吸症候群と診断され治療が必要な場合は、個々の原因と考えられる所見や既往疾患の有無などを考慮して経鼻的持続陽圧呼吸療法(CPAP療法)や鼻・咽頭の手術加療などの治療法を選択しています。

社会的にも問題になっている睡眠呼吸障害は幼小児も突然死・発育障害、成人・高齢者の高血圧、小児・成人の心肺機能の障害等、全身的に多くの問題を引き起こす原因になるとも考えられ、日中傾眠は学業・仕事・車の運転等にも支障をきたします。睡眠呼吸障害などに関するお悩み等ございましたら、お気軽に御相談下さい。

診察から睡眠検査・治療までの流れ



■検査当日のスケジュール(一例) / ~17:00 患者様来院

時間	患者様
18:00~19:00	センサ装着開始
19:00~21:00	食事・自由時間 ただし、検査開始前に眠ってしまわないようご注意ください。
21:00~06:00	就寝(睡眠検査) トイレは自由に行けます。
06:00~	検査終了 センサー・電極取り外し作業。

無線運用の検査機器を使用しますので、**起きている時間帯は自由に行動できます。**

検査依頼など医療機関からのご連絡は、〈地域連携室〉052-586-5755

新任医師のご紹介



整形外科
医長
白井 康裕

4月より整形外科医長として赴任となりました。今まで小児整形外科の臨床研究を行っていました。小児の特に股関節疾患と足関節疾患を専門としております。よろしくお願いいたします。



消化器内科
医師
大北 宗由

4月より赴任となりました。消化器内科の大北宗由と申します。患者様の体を治すだけでなく、不安もできる限り取り除くことができるよう、精進して参ります。よろしくお願いいたします。



内分泌・
代謝内科
医師
安田 寛子

最初は不慣れで御迷惑お掛けすることも多いと思いますが、なるべく早く少しでも病院や地域のみなさまのお役に立てるよう努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



眼科
医師
小笠原 康伸

4月より赴任となりました。小笠原康伸と申します。視覚からの情報は8割にも及び、生活の質に大きな役割を果たしています。みなさまの視機能の維持・向上のために尽力していきます。どうぞ宜しくお願いいたします。



小児科
医師
工藤 隆史

4月より赴任しました。小児科の工藤隆史と申します。まだまだ不慣れな事も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



小児科
医師
関屋 由子

4月より赴任となりました。名鉄病院で代務をさせていただいたので今回正式に赴任させていただきます。丁寧な診療を心がけます。どうぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科
医師
成田 英生

名大病院から赴任しました成田です。私自身4年ぶりに名鉄病院で勤務させていただきます。泌尿器科の中では一番若いので何かあればお気軽に御相談下さい。



研修医のご紹介



研修管理室
羽田野 裕

岡山から来ました羽田野裕です。名古屋出身ですが長く岡山にいたので中途半端な広島弁等ができる事があります。方言含め多々至らぬ点もあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



研修管理室
西山 有香

患者さんに寄り添い、信頼される医師になることが目標です。精一杯努力を重ね、そんな医師になることができるよう一歩ずつ成長し頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



研修管理室
千田 知輝

かねてから希望していた名鉄病院にて研修できること、大変嬉しく思っております。至らない点だらけかもしれませんが、患者さんに安心していただけるよう、いち早く一人前の医師になるため精進していく所存です。



研修管理室
金井 詠美

初めまして。研修医1年目の金井詠美です。名鉄病院で研修させて頂けることを、大変嬉しく思っております。患者さんに寄り添い傾聴し、適切な治療を行う医師を目指しております。どうかよろしくお願いいたします。



研修管理室
恩田 拓磨

今年度より初期研修医としてお世話になります。恩田拓磨と申します。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうかよろしくお願いいたします。



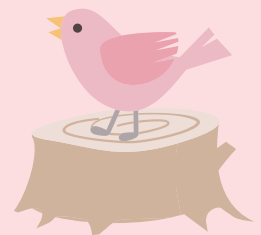
研修管理室
大西 沙織

初めまして。研修医として、お世話になります大西沙織です。大学ではスキー部に所属していました。精一杯頑張り、早く社会に貢献できるようになりたいです。また将来やりたいことをみつけないでほしいです。よろしくお願いいたします。



研修管理室
飯海 裕典

4月から研修医として働かせて頂いております。まだまだ分からない事だらけでご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。



新しい外来を設置しました



<リウマチ・膠原病内科外来>

■診療する主な疾患

●関節リウマチ ●悪性関節リウマチ ●血清反応陰性脊椎関節症 ●リウマチ性多発筋痛症成人スチル病 ●全身性エリテマトーデス ●強皮症(全身性硬化症) ●多発性筋炎・皮膚筋炎混合性結合組織病 ●シェーグレン症候群 ●血管炎症候群(結節性多発動脈炎 顕微鏡的多発血管炎 ウェゲナー肉芽腫症 高安動脈炎など) ●ペーチェット病 ●抗リン脂質抗体症候群

■担当/内科(リウマチ・膠原病内科) 高橋伸幸医師

■診察日/毎週月曜日 14時~15時30分、毎週木曜日9時~11時30分

<音声外来>

■診療する主な疾患

●声帯麻痺 ●声帯ポリープ ●声帯結節 ●ポリープ様声帯 ●声帯のう胞 ●声帯炎 ●声帯萎縮 ●機能的発声障害

■担当/耳鼻咽喉科 片平信行医師

■診察日/毎週木曜日14時~15時30分、第1土曜日9時~11時

名古屋市西消防署と合同で防火訓練を実施しました。



当院では、3月6日、名古屋市西消防署と合同で防火訓練を実施しました。はしご車による救出活動や消防隊と協力した避難誘導等、小出西消防署長はじめ西消防署員の指導の下、新1号館完成後はじめての大規模防火訓練となりました。

今後も、まずは火災を出さないことに十分注意しつつ、定期的に訓練を重ねていきたいと考えております。

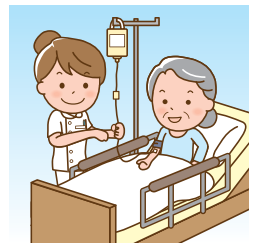


緩和ケアリンクナース会が始動。

平成29年2月から当院の緩和ケアリンクナース会が始動しました。

リンクナースは院内緩和ケアサポートチームと各部署をつなぐ役割を担い、早期から緩和ケアを提供できるように努めます。患者さんの苦痛には身体的苦痛だけでなく、病気になったことで生じた精神社会的な苦痛や自分の存在意義を見失うスピリチュアルな問題まで多岐にわたります。

メンバーが緩和ケアの理論と実践を学ぶことで問題に気付けるようになり、患者さんの高いQOLを維持し、少しでも安楽に過ごせるように貢献していきます。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11

URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>

TEL 052-551-6121 (代表)

診療科目

- 内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●神経内科 ●血液内科
- 内分泌・代謝内科 ●呼吸器内科 ●小児科 ●外科 ●整形外科
- 消化器外科 ●リハビリテーション科 ●脳神経外科 ●婦人科
- 皮膚科 ●泌尿器科 ●女性泌尿器科 ●耳鼻咽喉科 ●眼科
- 放射線科 ●腎臓内科 ●病理診断科 ●麻酔科

診療センター

- 予防接種センター ●健診センター ●ウロギネセンター
- 認知症疾患医療センター ●関節鏡・スポーツ整形外科センター
- 糖尿病センター ●内視鏡センター

専門外来 ※予約制 (一部を除く)

- リウマチ膠原病内科 ●音声外来 ●禁煙外来 ●乳腺外来
- インスリン導入外来 ●スポーツ内科 (他院からの紹介の方のみ)
- シルバークリニック ●小児慢性疾患外来 ●乳児健診 ●肝臓外来
- ストーマ外来 ●フットケア外来 ●ペースメーカー外来
- 糖尿病眼合併症外来 ●ASO外来 ●糖尿病透析予防外来
- リウマチ外来 ●関節鏡外来 ●スポーツ外来
- 小児整形外科<<月1回/不定期>> ●脊椎外来 ほか



3号館横の名鉄栄生①とあわせ、こちらもご利用ください。
なおロータリーへの駐車は、他の方への迷惑となりますのでご遠慮願います。
※3号館→1号館へはパラマストリート(3階)で連絡しています。

1号館前に名鉄病院駐車場を整備しました。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6121(代) FAX. 052-551-6711